



英語のジョーク宅配便

Vol. 2 April 7, 2010

OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言うこと」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。

地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 代表・宮本倫好

- 本紙は原則として、毎週水曜日に発行します。
- 執筆者は以下の本会会員です。相原悦夫、安藤雅彦、岡田茂富、土屋政雄、豊田一男、

■□本日のお届け品：先生もギャフン？



be 動詞の活用、僕は中一で習ったけど、アメリカでは小一の国語ですか？
可愛いエレンちゃんには、先生の揚げ足を取るつもりなんてゼンゼン無い。
けど結果として先生もマイッタの巻です。

TEACHER: Ellen, give me a sentence starting with "I."

PUPIL: I is ...

TEACHER: No, Ellen. Always say "I am."

PUPIL: All right. "I am the ninth letter of the alphabet."

【語句と和訳】

「和訳不能ジョーク」専攻の僕が好きなこのジョーク、われと思わん方は翻訳に挑戦してみては？

【笑いのツボ】

あたりまえの事をもっともらしく言うと、“I”は letter であり、これ一字で word でもあるところが、ミソでしょう。letter としては 3 人称単数で、word としては 1 人称単数。これをうまくつけたジョークですね。

【おまけ】

エレンちゃん流に、同じ発音の letter(s) と word を利用した 3 例：

What letter does a sailor love? The C. (→sea)

What letters are the smartest? The Ys. (→wise) 座布団 3 枚！

What are the two coldest letters? IC. (→icy)

- 担当は、安藤雅彦でした。